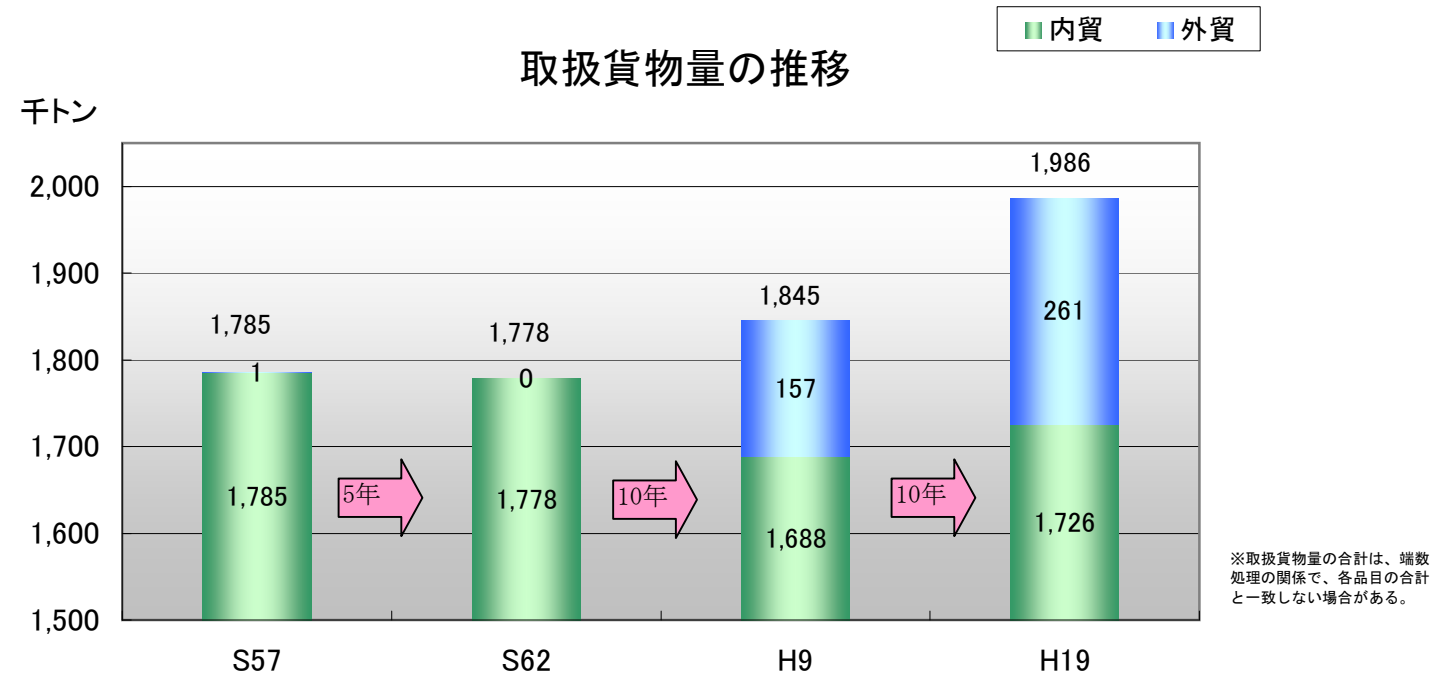


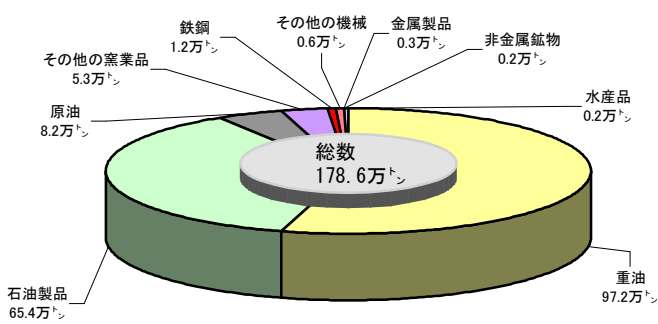
福井港の取扱貨物

福井港の取扱貨物の推移

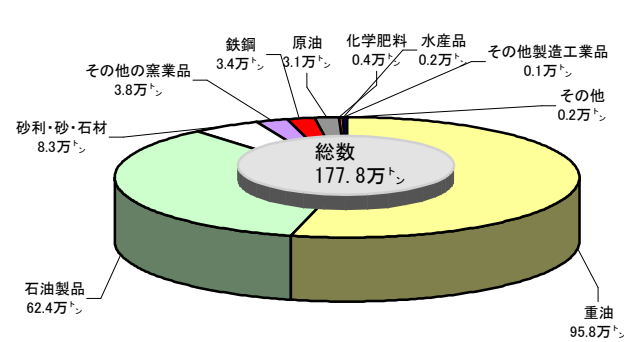


福井港の内賃の取扱貨物量は、使用エネルギーの転換により、重油の移入が大きく減少しているが、平成14年よりセメントの移入が始まっており、近年では30万トン以上の取扱がある。また、福井港の外国貿易は昭和56年から開始しており、近年では、順調に増加しており、平成19年の取扱貨物量では、約26万トン（輸入：17万6千トン、輸出：8万5千トン）であった。

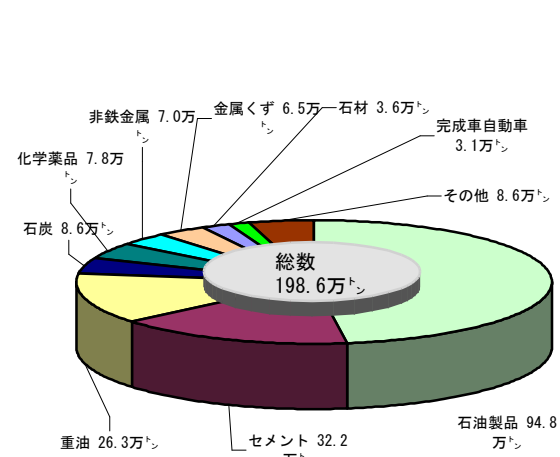
取扱貨物の内訳(S57)



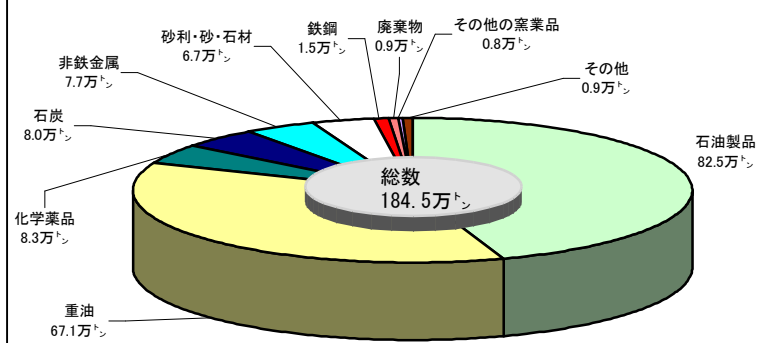
取扱貨物の内訳(S62)



取扱貨物内訳(H19)

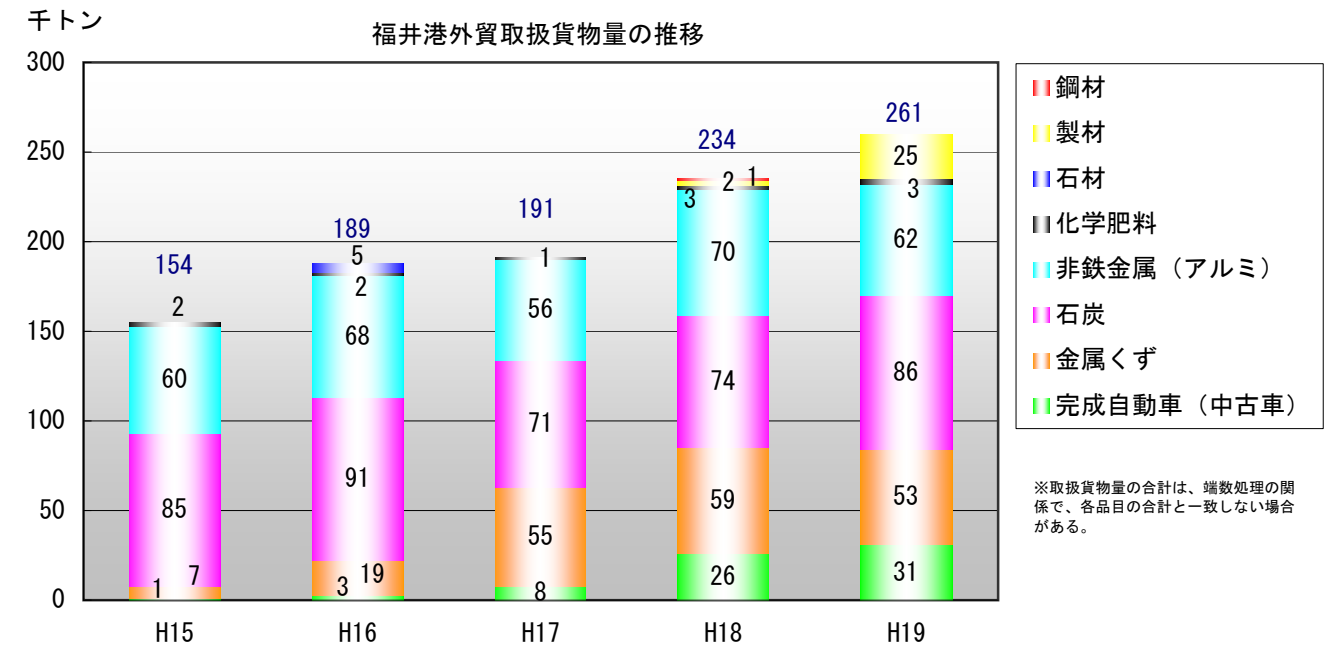


取扱貨物量の内訳(H9)



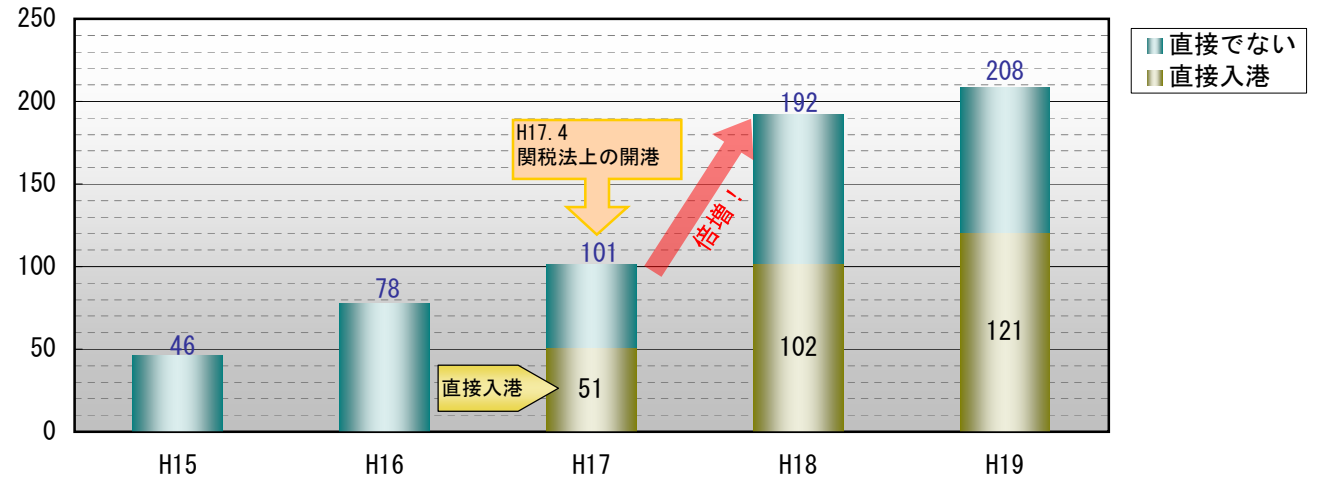
※ 取扱貨物の内訳は上位9品目のみを表示し、他の貨物はその他で合計している。

福井港の外国貿易の近況



福井港の外貿取扱貨物は近年増加傾向にあり、平成19年の取扱貨物量は約26万トンで、前年に比べ約2万7千トンの増加（約1.1倍）となった。また、平成18年12月に、テクノポート福井において、住宅建築用材料であるプレカット材の製造を行う企業が操業開始したことに伴い、新たに製材の輸入が開始され、平成19年は製材の輸入が大幅に増加している。なお、中古車の輸出も順調に増加している。

福井港の外航船入港隻数



平成17年4月の関税法上の開港以降、外航船入港実績は毎年過去最高を更新しており、平成19年の実績は208隻であり、初めて200隻を突破した。また、直接入港隻数も121隻と順調に増加しており、開港の効果が顕著に表れている。

品目別外航船入港隻数

